

国語科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

[知識及び技能]

既習の常用漢字に加え、その他の常用漢字を読むことや学年別配当漢字配当表に示されている漢字を文や文章の中で適切に使える力

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 毎週実施している漢字テストで、合格点（10点中8点以上）に達しない生徒が11%（9名）いた。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習として漢字学習を行わせ、授業の最初5分間で漢字確認テストを行う。 週1回の漢字テストを継続的に行い、合格点に達しない生徒に対して、補習学習会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間 週1回 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習、週1回の漢字テスト、補習学習会を継続して行い、小学校1～4年の漢字の読み書きを習得させた。2月には合格点に達しない生徒は6名まで減少した。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」において、知識・理解（言語）の正答率が65.1%だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習として漢字学習を行わせ、授業の最初5分間で漢字確認テストを行う。 週1回の漢字テストを継続的に行い、合格点に達しない生徒に対して、補習学習会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間 週1回 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習、週1回の漢字テスト、補習学習会を継続して行い、小学校1～5年の漢字の読み書きを習得、定着させた。2月には合格点に達しない生徒も減少した。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 「全国学力・学習状況調査」において、言語についての知識・理解・技能の正答率が67.9%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習として漢字学習を行わせ、週に一度ずつの漢字テストの実施（読み・書き） 「書き写し読書」を朝読書の時間に継続して行い、漢字に慣れ親しむ機会の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 週2回 毎朝 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字テストを継続して行い、小学校での漢字を習得、定着させた。また、「書き写し読書」では説明的な文章を書くことにより、論理的な文章の構成について学ばせた。

■主体的・対話的で深い学びに関連して

- 1年 家庭・授業において、主体的に漢字学習に臨む態度を育てる。
- 2年 家庭・授業において、主体的に漢字学習に臨む態度を育てる。
- 3年 家庭・授業において、主体的に漢字学習に臨む態度を育てる。

■小中一貫教育共通プログラムに関連して

- 1年 小学校での漢字学習を確実なものとして習得・定着させる。
- 2年 小学校での漢字学習を確実なものとして習得・定着させる。
- 3年 小学校での漢字学習を確実なものとして習得・定着させる。

